

講師略歴

スペイン日本商工会議所 会頭

(旧マドリッド水曜会)

マドリッド日本人学校 運営委員長

スペイン三菱商事 社長

服部 誠

はっとり まこと



- 1987年、京都大学 電子工学課 修士課程卒業後、三菱商事入社。
- 訪問国数は82カ国、駐在経験はアルゼンチン(2年半)、メキシコ(3年半+1年半の長期出張)、英国(5年半欧州・中央アジア・中東広域カバー)、今回のスペイン駐在で四か国目。(スペインでは本年4月に4年目を迎える)
- 2018年4月にスペイン駐在となり、スペイン日商(旧マドリッド水曜会)会頭を2年連続、マドリッド日本人学校運営委員長を3年連続で拝命、学校保有(1万㎡)の運動場部分(4千㎡)を売却し、築70年の老朽化校舎(6千㎡)の改修工事に注力中。

-
- 第一部「スペインの現状(政治、経済情勢)」
 - 第二部「スペインの良さ(豆知識)」

Jetro殿作資料に在スペイン日本大使館殿資料並びにスペイン三菱資料を一部織り込み、スペイン三菱にて編集

第一部：スペインの現状 (政治、経済情勢)

スペイン日本商工会議所 服部誠



移動自粛を常時呼びかける
マドリードの道路情報版

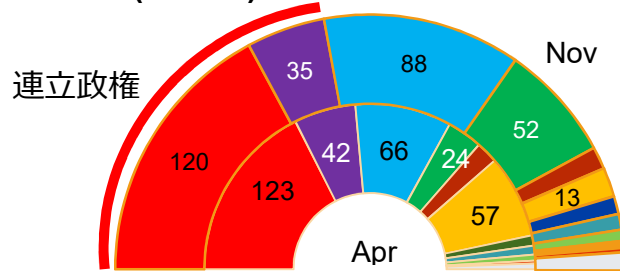
スペイン最新動向目次

1. 政治状況
2. 新型コロナウイルス感染状況は大幅改善
3. スペインにおいて特にコロナ危機の得今日が大きい理由
4. 企業支援策は信用保証やレイオフ支援が中心
5. ワクチンの早期接種に大きな期待
6. テレワーク普及が大きく前進
7. フードデリバリーやEコマースの成長が加速
8. 収益回復と感染予防のジレンマに苦しむ観光業
9. EU復興基金で危機に強い産業構造への転換図る
10. 復興基金を意識した動きが官民で活発化
11. スペインのインフラの実力

1 | 政治状況

- 2019年4月に総選挙をするも、第一党であった社会労働党は政権樹立できず、11月に再選挙。
- 社会労働党は第一党を守り、サンチェス暫定首相がポデモス連合、地方政党の支持やカタルーニャ共和左派（ERC）の棄権を得て新首相として信任され、ポデモス連合との連立政権を樹立した。

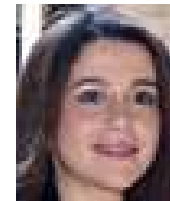
総選挙(再選挙)結果



| 下院 (定員350) | 議席数 (11月/前回) | 得票率 (11月/前回) |
|----------------|------------------|------------------------|
| 社会労働党 (中道左派) | 120 (123 / 85) ▼ | 28.0% (28.7% / 22.7%) |
| 国民党 (中道右派) | 88 (66 / 137) ▲▲ | 20.82% (16.7% / 33.0%) |
| Vox (極右派) | 52 (24 / -) ▲▲▲ | 15.09% (10.3% / -) |
| U.ポデモス (極左派) | 35 (42 / 45) ▼ | 12.84% (14.3% / 13.4%) |
| 市民党 (中道右派) | 13 (57 / 32) ▼▼▼ | 6.79% (15.9% / 13.1%) |
| Más País! (左派) | 3 (- / -) ▲ | 2.51% (- / -) |
| その他 | 42 (38 / 51) | 11.31% (10.1% / 14.6%) |

投票率69.87%(前回4月の選挙から-5.88%)

- 首相選出権限を有する下院では過半数（176議席）を得た政党はなく、与党社会労働者党（PSOE、中道左派）が120議席を得て第1党の地位を獲得。従来の二大政党制の一翼を担ってきた前与党民衆党（PP、中道右派）は、前回選挙時（4/28）から議席を伸ばし、88議席を獲得して第2党の座を維持。
- スペインの一体性維持を求める考えから、移民の適切な管理やカタルーニャ等独立派的動きへの反対等を主張する保守・右派政党であるVOXは、下院で前回の24議席から52議席に伸ばし、第3勢力となった。
- 2020年1月7日の第2回信任投票において、サンチェス暫定首相がポデモス連合、地方政党の支持やカタルーニャ共和左派（ERC）の棄権を得て新首相として信任され、ポデモス連合との連立政権を樹立した。（1970年の民主化以後、初の連立政権）



①社会労働者党
サンチェス
書記長
首相
連立政権

④ポデモス連合
イグレシアス
書記長
副首相
連立政権

②民衆党
カサド党首

③VOX
アバスケル党首

⑤カタルーニャ
共和左派
ジュンケラス党首
(選挙当時)
連立政権支持
(棄権)

⑥市民党
アリマダス
下院スピークスパーク

⑦カタルーニャ
と共に
プッチダモン代表
(選挙当時)

⑧バスク民族
主義党
オルトゥサル党首
連立政権支持
(信任)

2

新型コロナウイルス感染状況は大幅改善 一部移動・営業規制続くも年末からの第3波は収束方向

- 第3波は2月上旬にピークアウト。10万人あたり新規感染者数は867人→3月18日現在128人に減少
- 5月まで続く第2次警戒事態：
夜間外出禁止、飲食店の営業時間短縮・収容規制強化、州間移動制限を実施中

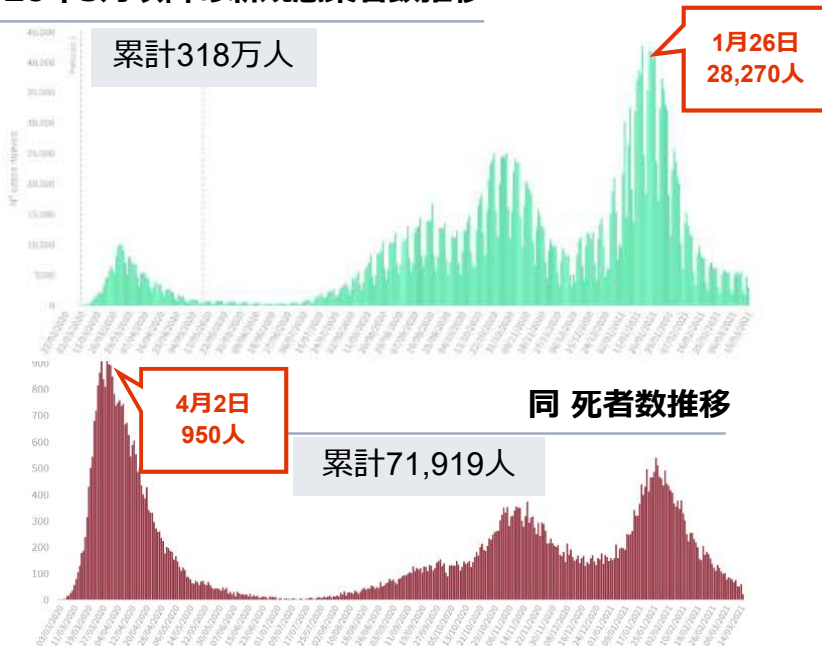
3月末～4月上旬のイースター規制：

- ・ 州をまたぐ不要不急の移動を禁止（島嶼部除く）
- ・ 従来通り、原則23時～翌6時までの夜間外出禁止
- ・ 会合人数は、屋外6人、屋内4人まで、ホームパーティ不可

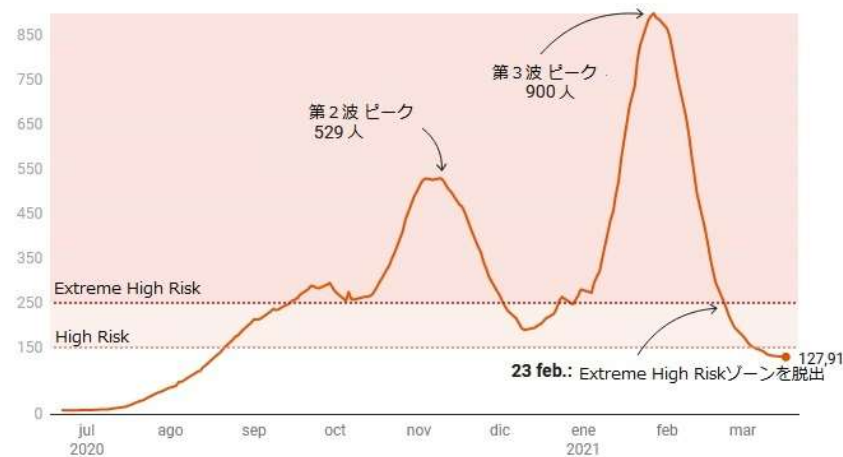


聖週間恒例の宗教行列は
昨年に続き中止

2020年3月以降の新規感染者数推移



直近14日間の10万人あたり新規感染者数 (2021年3月18日現在)



3 | スペインにおいて特にコロナ危機の影響が大きい理由

- スペイン中銀や独立財政監督機関(Airef) 等のスペインの公的機関, IMFやOECD等の国際機関, 民間シンクタンク等が言及している主な内容は以下のとおり。

1 新型コロナウイルス感染が特に深刻で、厳格で期間の長い経済活動の停止を実施

スペインは、2020年3月から4月にかけて、新型コロナウイルス感染拡大が特に深刻であり、ピーク時には人口当たりの感染者数及び死者数が世界で1位を争うほどであった。そのため、3月14日に発効した「警戒事態宣言」等により、他国に比べ厳格で、期間の長い経済活動の停止を実施した。

2 観光セクターのウェイトが大きい

スペインは観光セクターが経済に占めるウェイトが大きく、GDPの約12%を占める。また、外国人観光客受入数で、スペインは世界2位(2018年)であり、外国人観光客によるインバウンド消費の影響を受けやすい経済構造となっている。そのため、新型コロナウイルスの影響で、スペインを含む世界の人・交通の流れが止まり、スペインの観光、外食、宿泊、運輸、娯楽セクター等が甚大なダメージを受けたことが、GDPの大幅な下落に繋がった。

3 自動車セクターのウェイトが大きい

自動車産業はスペインのGDPの約10%を占める主要産業。欧州でドイツに次ぐ2位の規模を誇る。生産台数の約82%が輸出(総輸出額の約13%)され、海外需要の影響を受けやすい構造となっている。主要輸出先である欧州各国がコロナ対策で経済活動を停止した3月から5月は、生産及び輸出が急減した。

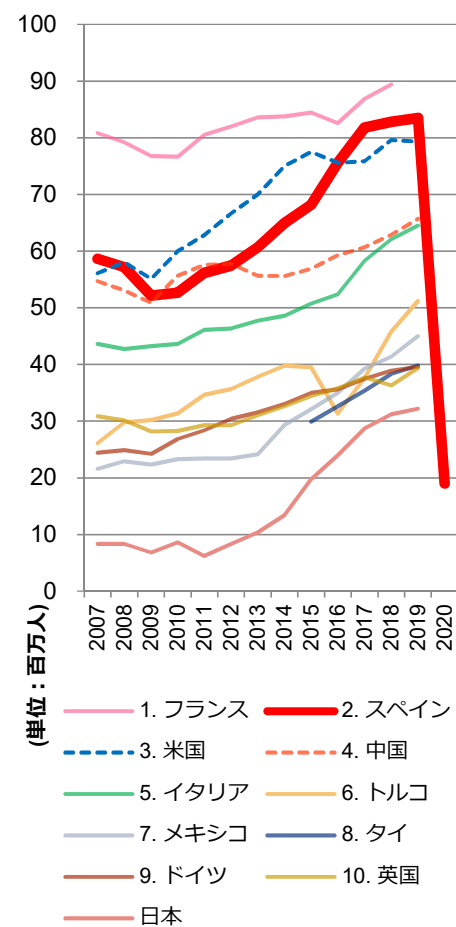
4 中小企業の割合が大きい

スペインは、欧州の中でも中小企業の占める割合が高い(従業員5人未満の企業の割合は78%, ユーロ圏平均:69%(2019年))。中小企業は経済危機への対応力が劣るため、今次危機の影響が大きくなった。

5 期間労働者の割合が大きい

スペインの労働市場において、期間労働者が占める割合が高い(スペイン:25.2%, ユーロ圏平均:13.9%(2019年))。期間労働者は、正規雇用者と比べ、脆弱な状態にあり、解雇されなくても、契約期間満了に伴う雇い止めに遭いやすく、雇用の調整弁となっている。そのため、経済危機において、失業者が増加しやすい構造となっている。

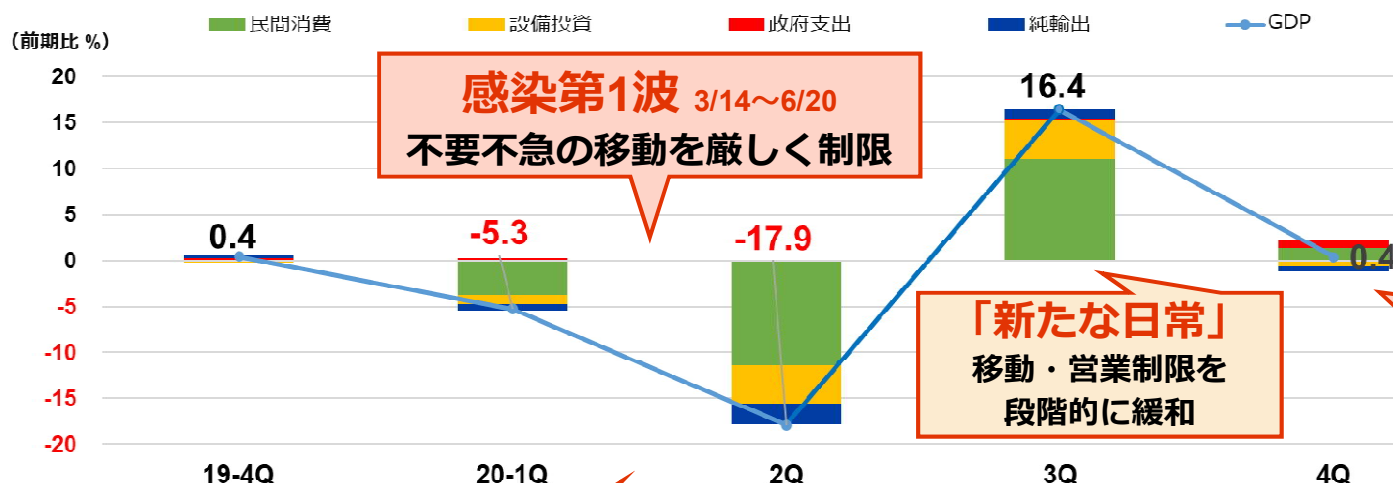
● 観光客入国者数世界ランキング



3-1 | 感染拡大から1年、規制に左右される経済

- 感染第1波収束後の「新たな日常」下で、第3四半期は前期比16.4%増の力強い回復となったが（前年同期比ベースで9.0%減）、**第2・3波による規制強化で景気は再び弱含み**になる見通し。

実質GDP成長率の推移（四半期）



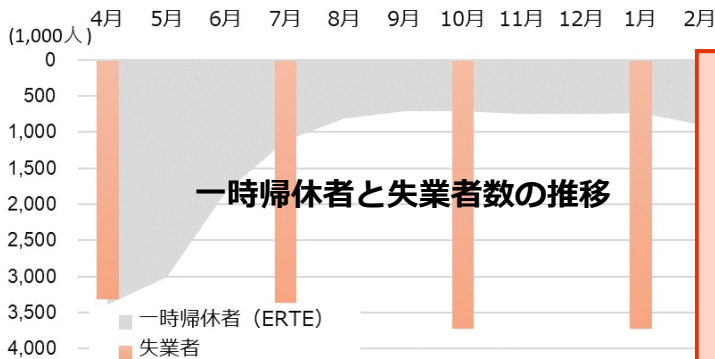
感染第1波 3/14~6/20
不要不急の移動を厳しく制限

2021年第1四半期
マイナス成長の可能性
・年始からの**規制強化**
・ワクチン普及の遅れ
・**観光・飲食業**が限界

「新たな日常」
移動・営業制限を
段階的に緩和

第4四半期
感染第2波
規制再強化で
失速

非必需品の
店舗営業停止 3/14~5/3
生産活動停止 3/14~4/13



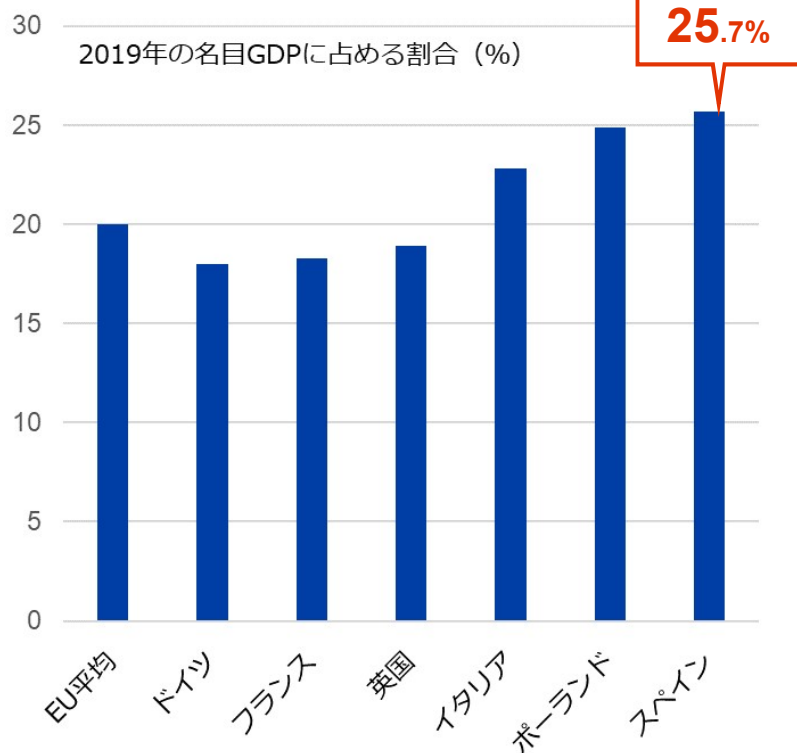
4月は一時帰休者の数が
失業者数を超えた。
その後の規制緩和で
減少したが、**現在も就業者の5%**を占める。
大半が観光・飲食業

(出所) スペイン国家統計局 (INE)、社会保険省

3-2 | 対人サービス産業への高依存

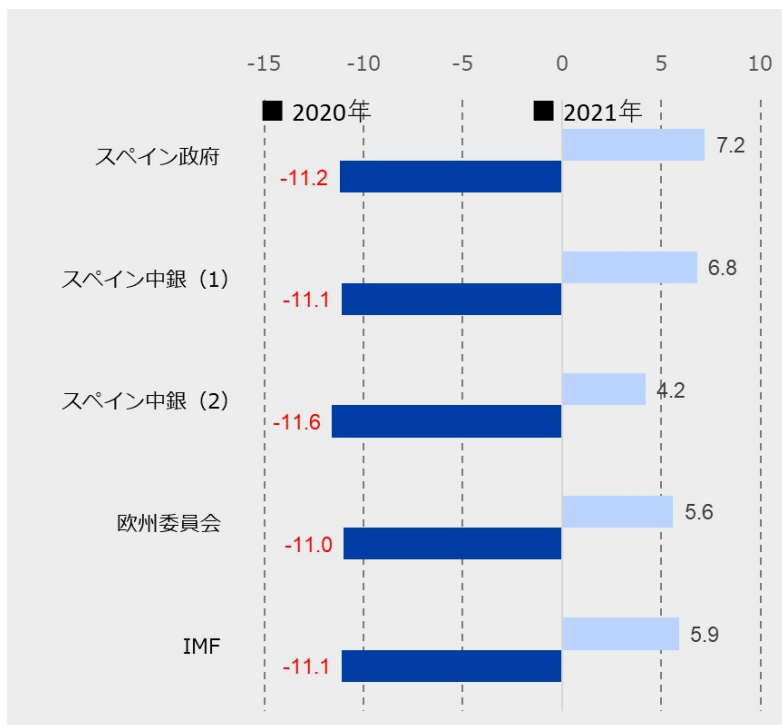
- スペインは新型コロナの打撃を強く受けた**観光産業がGDPの約12%**を占め、バリューチェーンを構成する「対人サービス産業」の比率も高いため、コロナ禍によるGDPの振れ幅が他国よりも大きい。
- 回復の見通しは規制措置に左右されるが、**コロナ以前の水準に戻るのは2022年末～2023年**との見方。

コロナ禍で打撃を受けた産業が各国GDPに占める割合
(商業・飲食・宿泊・運輸・娯楽産業の合計)



(出所) EUROSTAT

各機関の実質GDP成長率見通し (%)



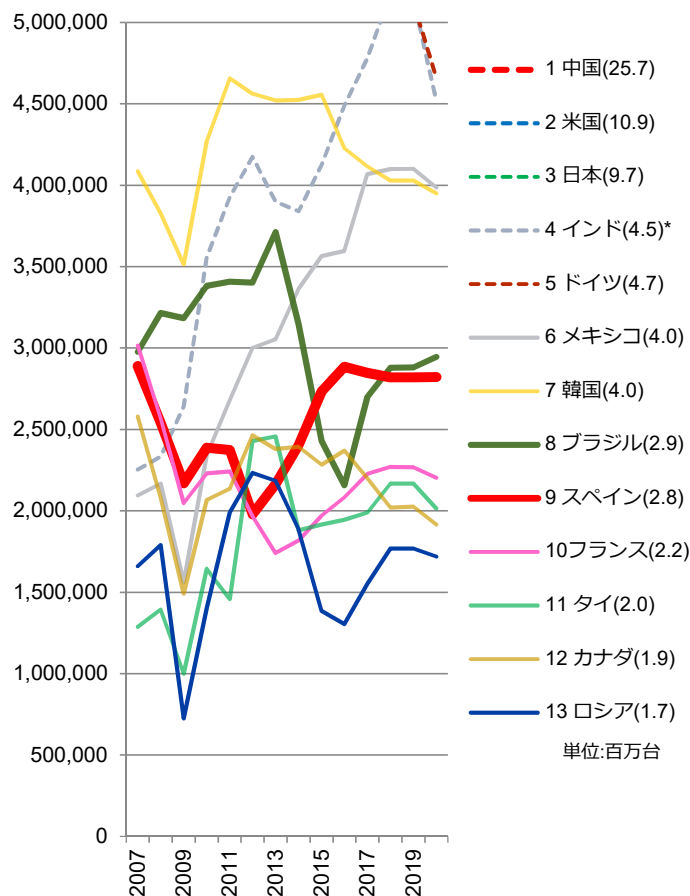
(注) 中銀見通しは (1) が感染状況の中庸シナリオ、(2) が最悪シナリオ。

(出所) 各機関ウェブサイト (2020年10月～2021年2月)

3-3 | スペインの自動車産業

- 自動車産業はスペインのGDPの約10%を占める主要産業。(生産台数 約280万台/年)
- 欧州でドイツに次ぐ2位の規模を誇る。生産台数の約82%が輸出(総輸出額の約13%)

● 自動車生産台数
(2020年生産世界ランキングとスペインの生産台数推移)



出典:OICA



| | | |
|------------------------------------|--------------------------|----------------------------------------------------------------|
| SEAT | バルセロナ | León, Ibiza, etc- |
| Nissan (撤退中) | バルセロナ | |
| Ford | バレンシア | Kuga, Mondeo, etc. |
| Volkswagen | パンプローナ | Polo, etc. |
| PSA group (Citroën, Peugeot, Opel) | ビゴ マドリード サラゴサ | Citroën: Berlingo, C4 C3 Peugeot: 2008 Opel: Corsa, etc. |
| Renault | バリャドリード、パレンシア、マドリード、セビリア | Kadjar, Captur, Megane IV etc. |
| Mercedes Benz | ビトーリア | V Class, Vito |
| IVECO | マドリード | トラック・特殊車両 |

4 | 企業支援策は信用保証やレイオフ支援が中心

- 困窮する個人事業者・失業世帯を対象に**月額462ユーロ**～の**最低所得保証（ミニマムインカム）**を支給

スペイン金融公庫（ICO）信用保証枠

- 2020年3月と7月に合計1,400億ユーロ（約18兆円）の枠を設定。うち6割強は中小企業・個人事業者に割り当て。返済期間は最長8年、返済猶予期間は最大24カ月と返済負担に配慮。

レイオフ（ERTE）支援

- 一時帰休者に標準月額給与の70%を支給（企業による上乘せ可）。企業負担の社会保険料も減免。
- 支援企業は、復職後6カ月間は該当ポストについて解雇も新規雇用もできない。残業命令も不可。
- なお、売り上げがコロナ前より50%以上減少した個人事業主にも標準報酬月額70%を給付する制度あり。

ソルベンシー支援（戦略的企業への公的資本注入）

- 国営持株会社（SEPI）が100億ユーロ（約1.3兆円）の支援ファンドを設置。航空中堅エア・ヨーロッパ（4.75億ユーロ・約620億円）への支援が決定済み。

セクター別：自動車・観光業など

- 自動車産業支援パッケージ（37.5億ユーロ）：EV購入補助、投資・税制改正、R&D支援、人材育成
- 観光産業支援パッケージ（45億ユーロ）：信用保証枠、融資返済・リース料猶予、DX・イノベ支援

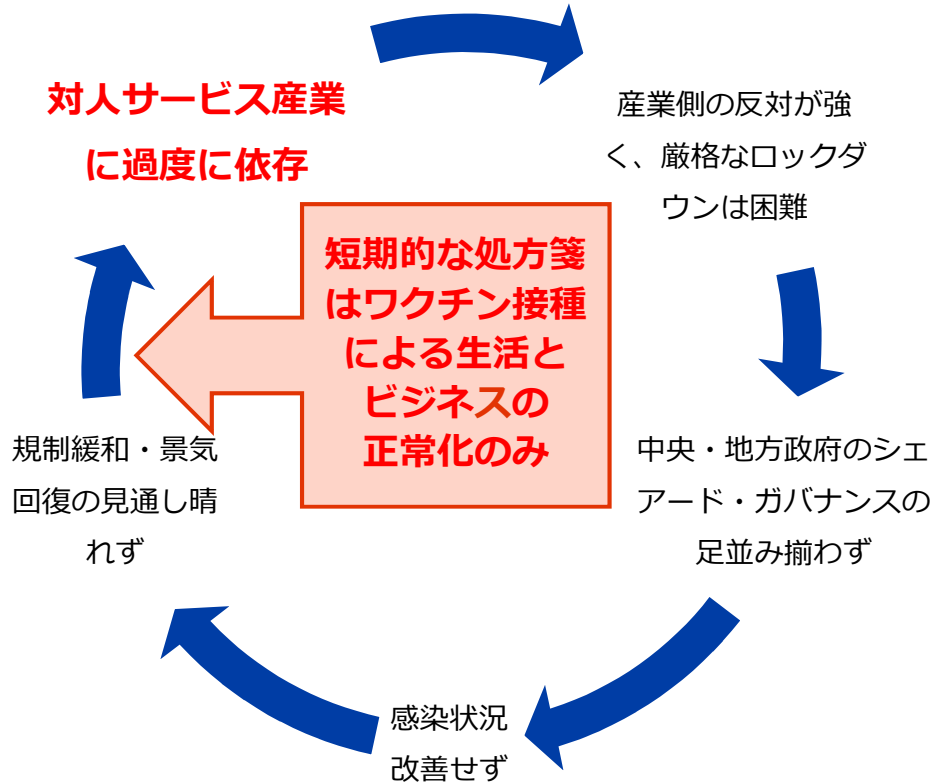
EU域外企業による戦略的部門の企業買収の監視

- スペインの上場企業または戦略的部門の非上場企業買収案件を対象に事前スクリーニング（2021年6月末まで）。EU/EFTA域内に拠点のある企業でも、域外資本比率が25%以上の場合は対象。

5 | ワクチンの早期接種に大きな期待

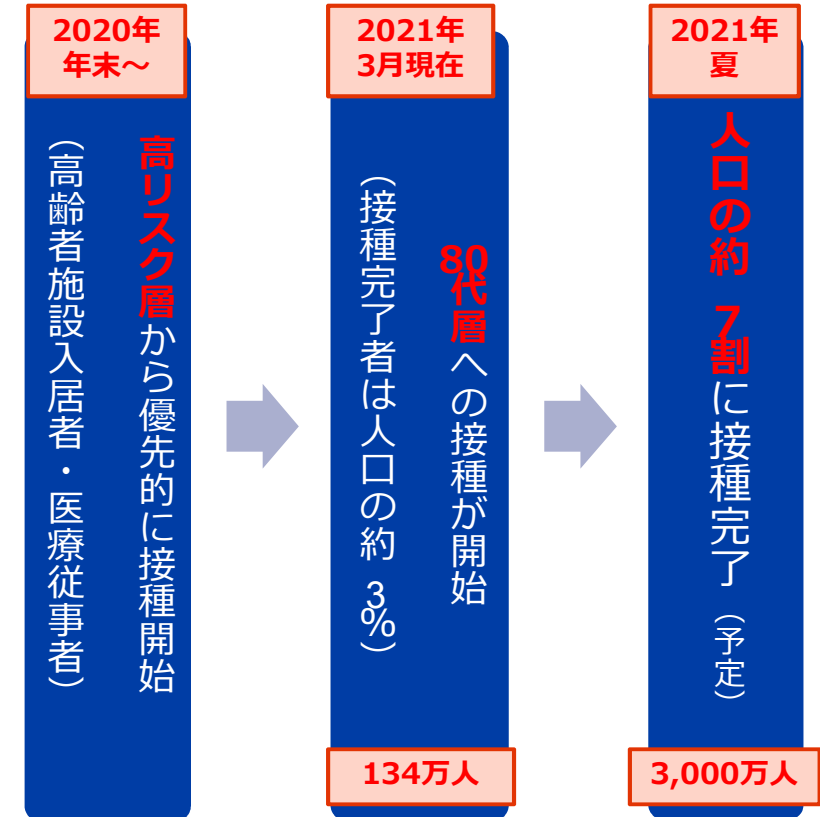
- 国家ワクチン接種計画では、**警戒事態宣言明け年5月9日頃**に**人口の相当部分への接種を完了**予定だが、納入遅延により夏前の収束期待に暗雲。観光大国スペインにとってワクチンは死活問題。

感染予防と景気回復の両立には限界



(出所) 各種報道を基に作成

ワクチン接種計画の流れ

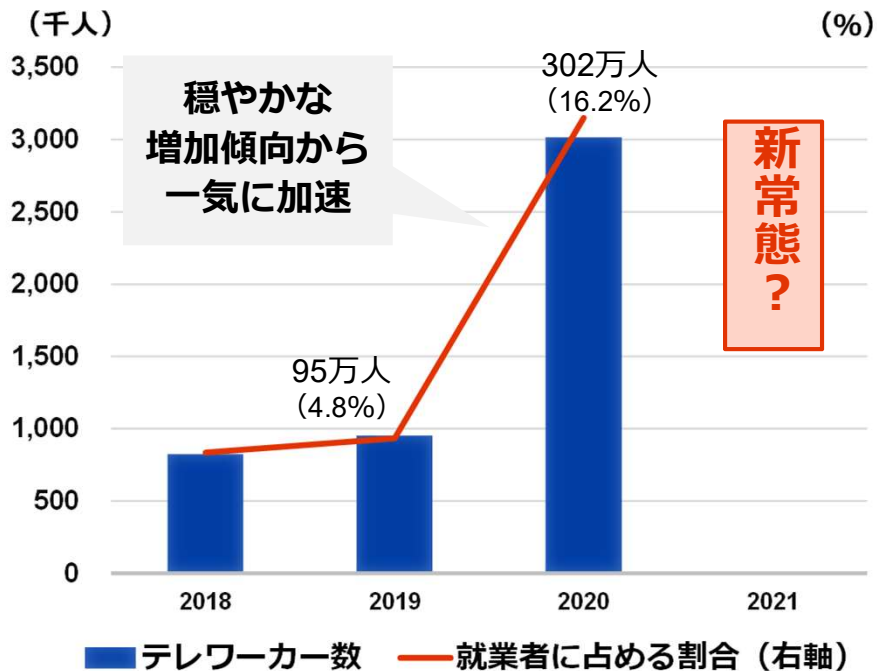


(出所) 首相府

6 | テレワーク普及が大きく前進

- スペイン商工会議所の企業アンケート調査（2020年7月）によると、コロナ禍で**テレワークを実施する企業の割合は54.4%**となった（大企業の80.6%、中企業の63.4%、小企業の49.5%）。
- 回答企業の**1/3が「コロナ収束後も実施継続」**の見込み。

テレワークの普及推移



(出所) INE

2020年10月より「リモートワーク法」を施行

- ・ 適用対象
3カ月間で週労働時間の30%以上がリモートワーク
- ・ 雇用契約への記載義務
企業はリモートワークを強制できず、労働者の自由意志
出勤者と同じ権利が保証される
- ・ 労使間のコスト配分
手段や機器、ツールなどの費用は企業側が負担
- ・ 「つながらない権利」
- ・ 企業側のテレワーク未整備を理由とした解雇の禁止

(出所) 勅令法28/2020

政府は週4日労働など、働き方全般の見直しも検討

7 | フードデリバリーやEコマースの成長が加速

- **消費の幅が狭まった**ことで、消費者の関心は衣食住のより基本的な部分に集中。
- **拡大したEコマースやフードデリバリーの利用**はコロナ収束後も**常態化**が確実視される。

食

フードデリバリーが急成長

2019年も前年比25%増で伸びていたが、**2020年も50~60%増**となる見通し。外食需要の減退やテレワーク層の平日需要拡大で、飲食店とスーパーが「中食」市場を食い合う構図に。

Eコマースの成長が加速

成長率は2019年の24%増から、**2020年は36%増**に加速。店舗営業停止で中小小売によるマーケットプレイス出店が急増。

インディテックスは2020年のオンライン売上高が前年比70%増、同売上比率が14→32%に拡大（なお、総売上高も28%減）。2022年までに実店舗を1,200店閉鎖、オンライン売上比率を25%まで引き上げる目標。**エル・コルテ・イングレス百貨店**は2020年3~8月のオンライン売上が前年比3倍に。比率は7→32%に拡大。**メルカドナ**は4月、マドリードに物流倉庫を開設しオンライン客取り込みへ。物流投資は全般的に非常に活発。

Eコマースの購入上位品目が、初めて「食品・家庭用品」に。次いで、電子・通信機器、ゲーム・書籍、衣服など

衣

住

郊外住宅の需要増、都市民泊は普通賃貸に

外出禁止期間の経験や在宅勤務。民泊は、マドリードで5割、バルセロナでは8割が賃貸住宅に。



宅配業の成長も加速

配送時間を選べる宅配スタートアップ「Paack」が2020年の資金調達額トップに

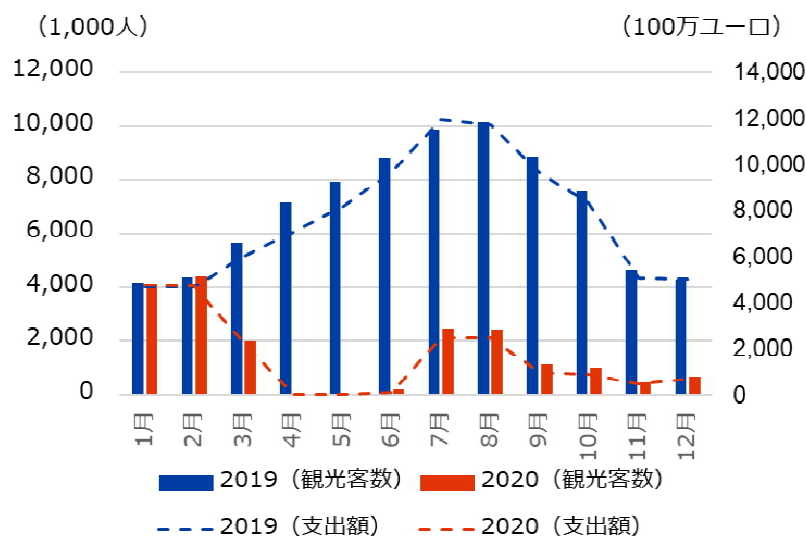
(出所) KANTAR、eMarketer、CNMC、Idealista、各社ウェブサイト

8 | 収益回復と感染予防のジレンマに苦しむ観光業

- 10年間右肩上がり続けてきたインバウンド観光客数は、**2019年の8,351万人から1,896万人弱へ硬着陸**
- 業界団体によると**2020年の観光GDPは前年の3分の1に縮小、GDP縮小幅の8割を占めると予測**

インバウンド観光客数と観光支出額

2019/2020年の月別比較



(出所) INE

展示会やビジネス・コンベンションはオンライン開催に移行し、MICE分野での影響も大。
国内観光は近場の農村観光は堅調だが、インバウンド部門の損失はカバーできず、リモートワーク客誘致などの策も焼け石に水

スペインの水際管理

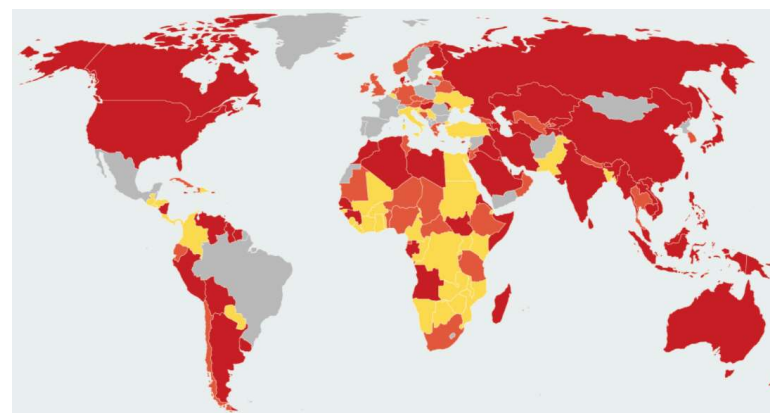
EU・シェンゲン域外国居住者

7月4日より入国を制限
日本も2月より制限対象
(NZ、シンガポール、中、韓、タイ、ルアンダを除き、不要不急の入国禁止)

感染危険65カ国・地域

11月23日より到着前72時間以内の「PCR検査」陰性証明の携行義務

ほぼ全ての国がスペインへの渡航を禁止・制限



スペインは欧州からの旅行者の入国を禁止していない

(出所) スペイン外務省、首相府

9 | EU復興基金で危機に強い産業構造への転換を図る

- EU復興基金「次世代のEU」総額7,500億ユーロのうち、**スペイン割当は1,400億ユーロ（約18兆円）**
- コロナ禍からの復興だけでなく、次世代に向けた発展のための地固めを図る。

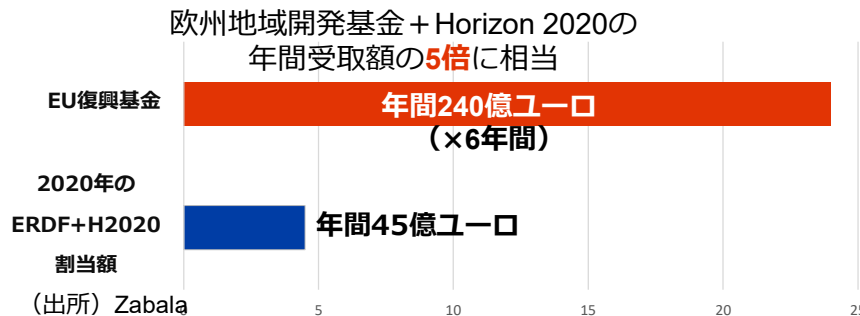
スペインの経済復興計画（2020年10月発表）

1,400億ユーロ（18,2兆円）のうち、補助金部分（融資枠以外）の約**720億ユーロを2021～2023年に実行**

10の重点政策分野



(出所) 首相府



復興基金の目標別配分

| | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| グリーン化 (37%) 再エネ 発電所の大規模展開 2023年までに EV 販売を25万台に増やし、充電インフラを10万カ所に拡大 住宅50万件のエネルギー効率化 洋上風力 発電などの沿岸・海洋資源活用 グリーン水素 | デジタル化 (33%) コネクティビティ サイバーセキュリティ 5G通信インフラ 公的機関・中小企業のデジタル化 スタートアップ 支援 データ・AI 活用推進 |
| インクルーシブ他 (30%) 雇用、過疎化対策、男女平等 復興計画の円滑な遂行のための財税制・行政改革 | |

10 | 復興基金を意識した動きが官民で活発化

- 2021年予算は、復興基金のうち270億ユーロを前倒して組み込み、経済支出が7割増加。
- ①再エネ・脱炭素化・分散発電、②電動モビリティ、③製造業のDX（自動化・インダストリー4.0）に重点

2020年5月以降の政府によるデジタル化・グリーン化政策の策定および民間企業による関連事業計画

| 政府 | 分野 | 民間企業 |
|-----------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 気候変動・エネルギー移行法案の議会審議開始－5月 再エネ発電所の新競争入札制度を制定－11月 | 再エネ | イベルドローラ、2022年～25年の間に同社の再エネ発電容量を44→60GWに拡大－12月 レプソル、再エネ発電とグリーン水素発電でスペイン最大手目指す－12月 |
| 「復興基金から100億ユーロを自動車セクターに配分」 （産業相）－11月 | 電動モビリティ | セアト、50億ユーロ規模のEV生産投資計画を発表－7月 |
| 「スペイン・デジタル2025」戦略を発表－7月 | DX | テレフォニカ、中小企業のためのデジタル化基金を設立－6月 |
| 「再生可能水素（R水素）ロードマップ」承認－10月 「復興基金から15億ユーロをグリーン水素開発推進に投資」 （首相）－11月 | グリーン水素 | イベルドローラ、欧州最大級の水素工場建設プロジェクトをラ・マンチャ地方で始動－10月 |
| 「AI国家戦略」（6億ユーロ）を発表－12月 | AI | 2021～23年で33億ユーロの民間資金動員見込む |

（出所）首相府、各社発表、各種報道

11 | スペインのインフラの実力

高速鉄道・高速道路

高速鉄道線路総延長

3,152 km

中国に次いで世界2位

日本は3位



高速道路総延長

16,214 km

EU 1位(世界4位)

EU2位はドイツの12,845km



空港/港湾/LNGターミナル

港湾：46港

アルヘシラス港、バレンシア港

地中海最大で欧州内でも5/6位の規模(世界では32位/33位)

空港：49港

内48の空港がAENA(西空港公社)による統一運営

LNGターミナル：7プラント/27タンク

国内ガスパイプライン11,000km、国外コネクション6カ所



再生可能エネルギー

総発電量に占める再生可能エネルギー
 総発電量に占める再生可能エネルギーの割合、43.6%、
 優れた送電網管理技術により、
 時間単位では総需要の70%超をカバーする事も可能。
 CO2排出しない発電量 66.9%

原子力廃炉技術

2006年から計画的な廃炉を開始、1件目については略作業完了。
 世界で同様の廃炉技術を有するのは米国/独国のみ。



主要インフラ/エネルギー関連企業



海外売上世界一のエンジニアリング企業。独HOCHITEF, Dragados等を傘下に持つ。



利用客数数世界一の空港運営会社。スペイン国内の他、英国・南米でも事業展開。



Renewable発電設備容量世界1位の電力会社
 国内 6GW,海外 14GW
 の設備を保有。



世界有数のエンジニアリング企業
 鉄道・水等のインフラ、再生可能エネルギー事業等を幅広く手掛ける。



世界一の高速道路運営企業。総延長7,500kmの道路を運営管理。



スペイン最大で世界有数のOil&Gas企業。近年はRenewable等の電力事業にも進出

■ 第一部: スペインの現状(政治、経済情勢)

完



+34-600 558 840



makoto.hattori@mitsubishicorp.com



Mitsubishi España,S.A.U.
Torre Picasso, 16D
Plaza Pablo Ruiz Picasso, 1
28020 Madrid Spain

■ ご注意

本日の講演内容、資料は情報提供を目的に作成したものです。主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様のご判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じても主催機関及び講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。